

## 「米軍基地いらない京都府民の会」ニュース VOL. 38 2014年10月28日

→10月15日 京丹後市に申し入れする「憂う会」三野みつる代表



←10月17日 京都府に申し入れする「府民の会」森下総子・共同代表



京丹後市・京都府に緊急要請申し入れ

## 「4者会談」協議の公開、工事の約束反古、ドクターヘリ停波など、説明を！

10月15・17日、「府民の会」は、「宇川有志の会」「後連絡会」の三者で、京丹後市（15日）・京都府（17日）にXバンドレーダーの10月搬入・11月運用開始が迫り、22日には米陸軍防衛中隊の発足式が予定されているもとの、緊急要請書を申し入れました。申し入れでは、米軍現地での工事の遅れを取り戻すために、確認事項が反古にされ、祝日・休日・時間帯を問わず、工事が急ピッチで進められている問題をはじめ、「京都新聞」が報道した「4者会談（防衛省・京丹後市・京都府・京丹後署）」協議の非公開、ドクターヘリ運航時の「停波」、環境影響調査の実施問題などを、質しました（「要請書」は裏面）。

申し入れには、京丹後市は、岩崎・基地対策室長が対応し「市長に要請内容を伝え、回答していきたい」、京都府は、辻村・総務調整課長が対応し、「9月議会で時間もなく、協議の場を11月5日以降に設定したい」と答えました。

### 京丹後市・京都府との主なやりとり

#### ・「4者会談」の情報公開

**市**：条例に基づいて情報公開すると表明。部分的には、非公開もある。防衛省が非公開とすることを求めているのかとの問いは否定。情報は、マスコミ・HPに資料を公開している。

**府**：マスコミの審査請求の結果を踏まえ対応したい。いつかは、わからない。テロなどによる住民避難を検討していることは、否定。

#### ・工事の約束違反の是正

**市**：防衛省を通じ、相談あった。協議したがそうだった。請負業者は約束違反をやっていない。米軍の作業は別。工事という認識も含め確認したい。「格納庫」は、仮設と聞いている。九品寺の参道使用は、持ち帰り検討したい。改善していく部分は防衛省に言っていくたい。

**府**：地元・市の了解を得て実施していると聞いている。住民から見ると理解できないことなので不信感がでているとし、説明を求めているとした。

#### ・米軍・軍属の居住地と住民への説明

**市**：ホテル周辺住民への説明は？。区長会では説明している。居住地は、まだ具体化されていない。一般業者が軍属と契約をしているのでは？。一般業者との直接の契約はあり得ない。

**府**：候補地が出た段階で説明すべきだ。

#### ・穴文殊の形状変更

**市**：一定あると思っていたが、レーダーがすわる部分は想定した以上に少なかった。

**府**：「必要最小限」は、米軍が判断したもの。

#### ・環境調査、環境対策など

**市**：電磁波調査結果のミリ単位でなく、マイクロ単位の公表は、伝えたい。3カ所の全面公開は、防衛省と相談したい。騒音には、防音壁をつくると聞いている。

**府**：防衛省に、明確に伝えるよう要請している。

#### ・レーダーの搬入

**市**：情報入手も含め、答えられない。

**府**：ひかえたい。

#### ・ドクターヘリの運航時の「停波」

**市**：一定のしきみを今月中にという目標でやっている。

**府**：合意できるよう詰めている。（知事は稼働までに詰めるとしている）

#### ・事故における補償

**市**：青森では、補償問題で「泣き寝入り」があったと聞いている。独自に制度をつくることはない

**府**：京丹後市と協議し、相談していきたい。

・発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称：米軍基地いらない京都府民の会）

連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

京丹後市長 中山 泰 様

### 経ヶ岬の米軍基地建設に関する緊急の要請書

1. 昨年から今年にかけて4者協議（防衛省、京都府、京丹後市、京丹後署）が16回に渡って開かれたそうですが、京都新聞社による情報公開請求でそのほとんどが非公開だったとしています。（京都新聞10月5日付）住民の安心・安全にかかわる米軍基地建設に関して協議の内容を非公開にすることは、行政の住民に対する姿勢として重大な問題だと考えます。私たちは、その内容の全面公開を強く求めます。関連して、テロ、基地での事故などに関して、住民避難の議論が行われているのであれば、その内容をすみやかに住民に明らかにすることを求めます。
2. 米軍基地の工事に関して下記の事項について京丹後市としての姿勢を改めてお聞きし、要請します。
  - (1) 重要な約束違反については、追認せず、是正するよう強く求めること。また、京丹後市としての基本的な姿勢を改めて明確にすること。そうでなければ、昨年9月に防衛大臣が「責任を持つ」と述べ、京丹後市もその表明をもって設置に協力した前提条件は崩れ去ると言わざるをえません。
    - ① 工事は、通学時間帯を避け、休日・祝日は行わないとしたことなど当初の約束の多くが履行されていません。9月11日に一方的に休日工事を通告したことについて、京丹後市としてとった対応を明らかにするとともに、今後、こうした約束違反が起きないことを保障すること。
    - ② 米兵および軍属の当座の居住地・施設について、地域住民へ説明を行うこと。米兵と軍属が市内数カ所のホテルに住み、追加部隊も入ってきます。こうしたホテル住まいは長期にわたる(少なくとも2015年の3月)ことから、地域住民への説明が必要です。しかるに、このことに関する説明は全く行われていません。また、居住候補地については、いまだ一切の説明もありません。その進行状況を明らかにすること。
    - ③ 米軍による工事は、「穴文殊」一体を破壊しながら進められています。国定公園であり、かつ、世界ジオパークネットワークによって山陰海岸ジオパークに認定されていることから、この破壊（形状変更）は許されないと考えます。これに関連して、下記事項について明らかにすること。
      - ア. 国定公園は京都府の管轄ですが、該当する自治体である京丹後市に、事前に工事による形状等の変更について具体的な説明があったのかどうか明らかにすること。
      - イ. 形状変更は「必要最小限」と説明されていますが、だれが必要最小限であると判断したのか、米軍が判断したのか明らかにすること。
      - ウ. 京丹後市は今年6月に「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」への回答で「ご指摘の穴文殊九品寺及びハヤブサはじめ本市の大切な資産や環境が確実に保全されねばならない、ということであり、この確保が前提である」と答えていますが、工事により、松の木が切れられ、岩盤が深さ数メートル破壊され、コンクリート柱が林立し、巨大な格納庫が建築されるのは、これに反すると考えます。京丹後市としての見解を明らかにすること。
      - エ. 基地建設に関連して、景観保全、環境保全を求めるとしていますが、その具体的な計画を明らかにすること。
  - (2) 日本環境管理基準の実施と公開は、景観保全、生態系保全、環境保全という点からきわめて重要でした。防衛省が行う一部の環境調査では、これらはカバーできないことは明らかです。しかし新聞報道で「日本政府の情報に基づき、現地調査は必要ないと判断された」と米軍は回答したとしています。このことについて、京丹後市に事前に説明があったのか、経過を明らかにすること。過日公表された3つの事前調査の結果、いずれも調査箇所が3カ所あるにもかかわらず数字が一つしか公表されていません。これはどういうことなのか明らかにすること。さらに、発電機、燃料備蓄、上水と排水、生活関連施設などについて、環境対策、環境への影響をなくすための対策の内容を明らかにすること。
3. 市長は9月30日に「レーダーがいつ搬入されるかは、安全のために明らかにしない」と公言されたが、住民の安全安心に係わるこの重大な事柄を隠すことがどうして安全確保につながるのか理解に苦しみます。しっかりと説明をしていただきたい。その上で、Xバンドレーダーがいつ設置され、いつから試験運用するのか、さらに、本格運用はいつから実施するのか改めて明らかにされることを求めます。さらに関連して以下の項目についても明らかにされたい。
  - 1 海難事故、ドクターヘリ運行時の停波の措置を必ず実施することを求めること。また、停波に関する米軍との取り決めがどのようになるのか明らかにすること。
  - 2 車力で停波したことがないとの米軍の証言について、京丹後市は承知していたのかどうか明らかにすること。
  - 3 電磁波の照射の範囲について改めて明らかにすること。「軍事上の保全のため」が含まれる照射範囲は縮小できると考えられることから縮小を求めること。
4. 米兵、軍属による事件・事故が起きないようにするために、引き続き万全の対策をとること。自動車の運転者については、十分な任意保険に加入し、契約切れなどが無いことを市当局が米軍に確認できる制度を作ること。
5. 万一、事件事故が起きた場合にその被害者が不当な不利益を受けないような保障制度を国に求めること。それが不十分なら市がその制度を具体化すること。